

支援とは

氏名：松岡 大地

学校名：九里学園高等学校

担当教科：外国語（英語）

実践教科：学校設定科目「グローバル演習」

時間数：2 時間

対象学年：2 学年

人数：18 名

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標：

支援について考察し、アクションプランを考える。

【2】 単元の 評価規準例	(ア) 関心・意欲・態度	フィリピンに存在する問題に関心を持ち、自分事として捉え、考えることができる。
	(イ) 思考・判断・表現	問題について多角的な視点からとらえながら、支援のあり方を考えることができる。
	(ウ) 技能	他人及び自分の考えをまとめ、合意形成に貢献することができる。
	(エ) 知識・理解	フィリピンの問題について正確に理解することができる。
【3】 単元設定の理由 (児童/生徒観、 教材観、指導観)	【生徒観】 プログレスコース2学年は、男子8名、女子11名、計19名の生徒が在籍している。本校入学当初から食料問題や難民・移民、人口問題など世界の問題について考える活動を行っているため、多くの生徒は世界の情勢について興味を持って話を聞くことができる。男子1名が現在フィリピンに留学をしているため、クラス全体がフィリピンについての関心も高い傾向が感じられる。また海外からの留学生を受け入れる頻度も多く、海外に対しての高い興味を持っている生徒もいる。ほとんどの生徒が卒業後進学を希望しており、日々勉学に取り組んでいる。 【教材観】 本校の目指すグローバル人材とは、正解のない問いに対して自分事として捉えながら考えることのできる姿勢を持った人材である。正解がないからこそ、多角的な視点で問題をとらえ、その解決のために行動を起こすことが大変重要である。様々な価値観を受容し、行動できる人間の育成を目指している。 今回フィリピン研修の体験を通じて考えた「支援のあり方」を生徒と共に考え、そこから広い視野で問題を見つめ、解決に向かって行動に移そうとする姿勢を身につけてほしいと願っている。 授業はグループワークを基本とし、他者と意見を交換しながら合意形成をしていく機会を設けた。授業内ではフィリピンで実際に見たものを映像として提示するのみで、問いに対して授業者の主観が生徒の意見に影響を与えないように工夫する	

【4】展開計画（全 2 時間）			
時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	幸せとは 1. 幸せとはなにかを考える。 2. 幸せとは何かを考えることで、支援の仕方を考える。	・フィリピンクイズを通して、フィリピンについて知る。 ・フィリピンの貧富の差についての現状を写真・動画を通して知る。 ・グループでの話し合いを通して、対話的にフィリピンの実情について考える。 ・幸せを考えることで、支援のあり方について考える。	パワーポイント
2 本時	支援とは 1. 支援のあり方考える。 2. 多様な視点からの支援を考える。	・支援のあり方について個人・グループで考える。 ・実際に現地で支援活動をしている団体の代表の話を視聴することで、支援に必要なことを学ぶ。 ・グループで自分のできる支援を考えることで、支援に大切なマインドセットを考えるとともに、必要なことについても考える。	パワーポイント
【5】本時の展開			
過程・時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
1 時間目			
導入 (15 分)	フィリピンを知ろう (アイスブレイキング) ○各自ポストイットに正解を記入し、その後グループでシェア	パワーポイントでクイズを出題 1)フィリピンはどこ？ 2)フィリピンで初めてのお買い物!! 松岡がびっくりしたこととは？ 3) フィリピンで有名なファストフード店とは？ 4) 松岡がフィリピンで毎日食べた食べ物？ 5) 小学校の女の子に大人気！日本	パワーポイント Post it インタビュー動画

		のキャラクターとは？ 6) フィリピンの通貨は？ 7) 1 ペソ＝何円？ 8) フィリピン人の平均月給は？ (約 3 万＝6 万ペソ) 9) フィリピンの首都は？ (都会な感じをだす) 10) inasal (フィリピンのレストラン) 写真のメニュー (ごはん食べ放題) は何円？ A. 107 ペソ＝220 円ぐらい	
展開Ⅰ (15 分)	○幸せとは？幸せに必要なものとは？をグループでシェア (3～5 分) ○動画視聴 (フィリピン人のインタビュー動画：7 分半) ○動画視聴後改めて幸せとは？幸せに必要なものとは？を考える (2～4 分)	司会者を決めさせ、スムーズに話し合いができるようにする。 机間巡視を通して、興味深い意見の変化は全体でシェアさせる。 幸せを通して、フィリピン人の子供の実情を他人事ではなく自分事で考えるようにする。	
展開Ⅱ (20 分)	○支援とは？支援に必要なものは？をグループでシェア (3～5 分) ○フィリピンに住む人達のために奮闘している人たちを紹介 (1) 認定 NPO 法人アイキャン (2) ユニカセコーポレーション (3) NGO LOOB (5 分) ○貧困の連鎖について学ぶ (3 分)		

	○ユニカセ・コーポレーション 代表中村さんによる「支援の 段階を考える」を視聴（4分） ○支援とは？支援に必要なもの とは？の再考（3～4分）		
2 時間目			
展開Ⅲ (35 分)	○米沢企業・会社・団体、クラス、 個人レベルで、できる支援と は？ (グループワーク：25 分) ○発表：全体で共有 (各グループ 2 分：約 10 分)	問：各視点から見て支援できるこ とはなにか？支援の段階と SDGs を併せて考える。	ホワイトボード
まとめ (20 分)	振り返り(10 分) ○松岡がみたものを視聴（5 分）	最後は前向きに終われるように配 慮する	振り返りシート記入 動画

【授業実践の様子】



幸せについてそれぞれに意見を考えた後、
グループでシェアした。



米沢企業・会社・団体、クラス、個人レベルで、
できる支援を考え、グループで話し合いを行った。

【6】 本時の評価

支援について具体的なアクションプランまで完成させたかったが、発問がもう一つ足りずに、具体的なアクションプランを立てるまで至らなかった。しかし、生徒たちから自身の持てる情報や経験をもとにしっかりと話し合いに参加する姿勢が見られた。

【7】 単元を通した児童生徒の反応/変化	
【生徒の振り返り】 ・ただお金や物品の支援を行うだけでは、支援を受ける側の人のためにならないことが分かった。様々なところで行われている募金は Stage1 の部分が多いと感じているので、Stage2,3 の募金を増やすことができれば、さらに改善されるのではないかと思います。 ・聞くだけ、本を読むだけではなく、実際に行く、聞きこむことでリアリティーが増し、興味が持てました。マズローの欲求にのっとった Stage 分けの話がとても興味深かったです。 ・アクションプランとして出すだけでなく、自ら行動に移していかなければいけないと思った。 ・企業やクラス、個人単位でのアクションプランを考えましたが、結局は個人の集まりであるので団体を動かすのは人であると思いました。 ・紛争、戦争をなくす支援は大切だと思うが、技術を与えて発展させていくことは本当に必要なことなのだろうか、それが逆に幸せを崩してしまうことにつながらないだろうか。	
【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】	
【生徒に意見】 ・もっと他の国の現状も知り、もっとグループワークの時に話せるようにしたいです。 ・大変な状況の中でもポジティブに幸せだと考えていたフィリピンの人達はすてきで自分もそんな人になりたいと思った。	
【途上国・異文化への意識の変容】	
（授業前） 幸せとは ・食べている時・寝ている時・趣味・楽しく話している時など 支援とは ・必要としているもの、ことを手助けすること・困っている人を助けるなど	
（授業後） 幸せとは ・自由な時間がある・家でゆっくりする・家族が全員そろったなど 支援とは ・支援する側される側が互いに学んだり、楽しむこと・支援受ける側が自立できるようにすること・支え合うこと	
【8】 自己評価	
苦労した点	幸せを考える中で、「自分は幸せなのだから、感謝して生きる」という段階からもう一歩進んだ思考に進むため、支援とは？を考えさせたが、支援と言っても方法は数え切れないほどあるため、どの手法に絞るべきか悩んだ。効果的な議論を生み出す手法を模索することに苦労した。実際に議論をさせているときも、前半は生徒たちがなにを話すべきなのか不明確であったため、活発な議論にすることができなかった。

改善点	誰を支援するのかを明確に設定してアクションプランを考えさせることが必要だと考える。具体的には「フィリピンのスカベンジャーの支援」や「マニラのストリートチルドレン」など。実際に支援している団体の支援の仕方を明示することで、支援の方法をより具体的唯イメージできるのではないかと考えた。また企業が実際に行っている支援の方法をいくつか例示することにより、様々な方面からの支援の例を知ることができ、より具体的な議論にすることができたのではないだろうか。
成果が出た点	支援について考えることで、与えることだけが支援ではないということを伝えることができた。支援する側とされる側が支え合い、学び合う姿勢の重要性を伝えることもできた。フィリピンの現状を伝えるために、動画を中心に授業で活用した。写真と共に活用することにより、よりメッセージ性のある内容になったと思う。また幸せという身近な、かつ深いテーマ設定したことにより、生徒自身が主体的に考えることができたのではないだろうか。
備考(授業者による自由記述)	授業者以外でもできるようなワークショップ形式の授業作成を目指したため単元としては少なくなっている。授業者がフィリピンで感じたことや考えたことをもう少し伝えても良かったと反省している。答えを与えることなく、生徒に主体的に考えてほしいという思いが先行し、授業者の思いが少しわかりづらくなってしまった。今後同じ授業を何度も行っていき、思いを少しずつ伝えていけるようにしたい。また議論を活発にするためにも、ファシリテーション手法を学習し、より対話的・発展的な議論になるような授業構成を考えていきたい。

添付資料：

フィリピンクイズ (全8問)

post itに答えを書いてみよう。
(後でグループでシェア)



Q1 フィリピンってどこ？

- ① 東南アジア
- ② 中東
- ③ アフリカ
- ④ 南米

Q2 フィリピンで初めてのお買い物！！
松岡がビックリしたことは。



Q3 フィリピンで有名なファストフード店は？



Q4 フィリピンの通貨は？

- ① フィリピンドル
- ② ルピー
- ③ ペソ



Q5 1ペソ = 何円？

- ① 200円
- ② 20円
- ③ 2円



Q6 フィリピン人の平均月給は？
(日本 = 約35万)

- ① 約20万
- ② 約10万
- ③ 約6万



Q7 Inasal 下のメニュー
(ごはん食べ放題)は何円？

- ① 850円
- ② 550円
- ③ 220円



Q8 フィリピンの首都は？

答えをグループでシェア

- ① マニラ
- ② ハノイ
- ③ ナイロビ



フィリピン



何している人？



ストリートチルドレン 写真NPO法人13歳より



何している人？

NGO LOOBより



スカベンジャー/ウェストピッカー

NGO LOOBより



フィリピン

フィリピンを通して考えたこと

①幸せとは？

②支援とは？

①グループでシェア(3分)

名前：

私は

の時・瞬間が幸せです。

幸せには

が必要です。